

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第21回全国の集い in 北海道 2015

開催の
ご案内



地域を支えるための育てあい
～フロンティアの地 北海道から～

2015年
10月11日(日)・12日(月)

会場 札幌コンベンションセンター

〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

大会長 草場 鉄周 北海道家庭医療学センター 理事長

大会ホームページ <http://frontier2015.hkdo.jp>

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークとは…

診療所を中心として在宅ケアに関わる全ての職種や当事者の方々が「ネットワーク」することによって、活力を与えあい、それぞれの夢を膨らませ、困難を乗り越えていこうという趣旨のもと、在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワークは1995年に発足いたしました。現代は医療を医療者にお任せにする時代ではなく、自分の体は自分で守る時代です。このネットワークは診療所をキーワードにしていますが、どなたにも開放されたネットワークです。

大会長挨拶

このたび、大会長を仰せつかった北海道家庭医療学センターの草場鉄周です。大会を開催するにあたり、私どもは「地域を支えるための育てあい」をテーマに掲げさせて頂きました。日本の医療・介護の行く末が在宅ケアにかかっていることに異論を唱える方はもはやおられません。今後の高齢化の急速な進展と医療及び介護人材の量的・質的な不足が早晩大きな課題として突きつけられることもまた避けられない情勢です。一朝一夕で解決できない「人材育成」にこそ、我々専門職のエネルギーを大きく投じるべき時期が、今来ているのではないのでしょうか？ そうした問題意識のもと、今大会では従来からの在宅ケアを支えるにあたっての様々なテーマに関する実践交流会やシンポジウムはもちろんです。地域を意識した職種内あるいは多職種間の専門職教育の在り方についてのセッションを数多く提供する予定です。どうぞ多くのお仲間をお誘い頂きご参加ください。お待ちいたしております。

◆主なプログラム

大会1日目 (10月11日 曜日)

◎ 午前のプログラム

大会長講演 草場 鉄周 (北海道家庭医療学センター)

基調講演 松尾 睦 (北海道大学経済学部)

特別企画「育てあいについて考える(仮)」

松尾 睦 (北海道大学経済学部)

苛原 実 (いらはら診療所院長、在宅ケア全国ネット会長)

草場 鉄周 (北海道家庭医療学センター)

◎ 午後のプログラム

実践交流会

(9つのカテゴリーに分かれて開催)

カテゴリー

① 緩和ケアと看取り

② 認知症

③ 訪問&通所サービス

④ 薬と生活

⑤ 地域包括ケア

⑥ 口腔ケアと栄養管理

⑦ 新しい試み

⑧ 在宅生活の継続

⑨ 教育

大会2日目 (10月12日 月曜日/祝日)

◎ 午前のプログラム

【理事会企画】「不同意メッセージとユマニチュード(仮)」

講師：伊東 美緒 (東京都健康長寿医療センター研究所・研究員)

※ユマニチュード [包括的ケアメソッド、特に高齢者と認知症患者において有用とされているケアの新しい技法です。]

【シンポジウム】「広い！寒い！遠い！北の在宅医療を支えるプロフェッショナル」

座長：前沢 政次 (京極町国民健康保険診療所)

菊地ひろみ (札幌市立大学看護学部)

シンポジスト：

浮田香代子 (北海道総合在宅ケア事業団羽幌地域訪問看護ステーション)

寺本 圭佑 (足寄町役場福祉課総合支援相談室)

山田 康介 (更別村国民健康保険診療所)

鎌田 智子 (洞爺湖町役場健康福祉センター)

この企画は事前申込制になる可能性があります。その場合は、大会の事前参加登録がお済みの方を優先してご案内します。最新情報はホームページにてお知らせしますので随時ご確認ください。

